

「野川散歩で 自然の変化に触れる」 (番外編)

2021年3月

早春の晴天の午後、久しぶりで野川岸を散歩した。大沢橋近くは川の水が豊富でコサギが餌を探していたが、上流の野川公園近くは一部流れが涸れていた。しかし、国分寺崖線からは湧水がわずかながら流れ出ているのが確認できて嬉しかった。

水車小屋も健在であったが、コロナのために休館となっていた。川辺には早春の野の花が見られたので、カメラを向けながら歩き、野川公園の自然観察園に入った。さすがに木道沿いには冬の名残が感じられたが、ケマン草、踊り子草が一論だけ咲いているのが分かり春の到来を確認できた。

今日の一番の目的地は観察園の一角：いきなりミスミソウが数株目に入り、側にアズマイチゲが咲いていた。来たかいがあった！ 節分草はすでに花期が過ぎていたが、6年前に数株移植されて根付くか心配していたのがなんと数百株に増えていた。